

# 第5学年 国語科学習指導案

日時 平成21年10月24日(金) 5校時

児童 5学年 男8名 女8名 計16名

指導者 藤原五輪

- 1 単元名 目的に応じた伝え方を考えよう  
教材名 「ニュース番組作りの現場から」  
「工夫して発信しよう」

## 2 単元について

### (1) 児童について

児童は、五年生上の「サクラソウとトラマルハナバチ」や「千年の釘にいどむ」で、文章構成や文末表現、重要語句に着目して要旨をとらえたり内容を読み取ったりする学習を行ってきた。また、筆者の主張に対して自分なりの考えをもつことも学習してきている。

児童は、与えられた課題にこつこつと地道に取り組む子が多いが、発言・発表についてはどちらかという意欲的ではなく、偏りがある。事前テストの結果から、読む力については、段落ごとの内容はほとんどの児童が理解できているが、文章構成図を考えたり、要点、要旨をとらえたりする力はまだ充分ではないということが分かった。また、文章を書く力については、普段の日記や感想などを見ると、自分の考えを順序立てて分かりやすくまとめて書くことに個人差があることが分かった。

### (2) 教材について

本単元における「読むこと」の主な指導事項は、「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読みだりすること」(読むことウ)である。

教材「ニュース番組作りの現場から」は、ニュース番組作りの特集の作り方についてまとめた文章である。時間に沿って、報道スタッフの役割や情報収集、編集会議の在り方、伝えたい内容の絞込み方が分かりやすく整理されている。ニュース番組作りに関する情報提供としてだけでなく、時系列に沿って大事な事柄に注意して読み取る文章としても適している。さらに、読者である児童は、番組作りのスタッフになった気分で教材文を読み進め、単に番組の作り方を学ぶだけでなく、そのときどきにスタッフが留意している事柄や苦労なども合わせて読み取ることができる。

また、その後に学習する「工夫して発信しよう」の活動のための手引きあるいは解説ともなっていて、発信するための情報の選び方、編集の仕方などを考えることを通して目的に応じた情報の配列・編集等についての理解を深めることができる教材である。

### (3) 指導について

「つかむ」では、まず全文を読み学習のめあてをもつ。教材文を学習した後、実際に情報を発信する活動を確認し、児童が目的をもって学習に取り組めるようにする。

「深める」では、時系列に気をつけながら、「一人学び」で特集ができるまでの過程を表に整理し、それをもとに各過程の大事なことや気をつけること、報道スタッフの工夫をまとめ、願いを読み取る。指示語や文末表現、重要語句、中心文をもとに要点をおさえ、段落構成を明らかにしてから要旨をまとめさせたい。その後、実際にニュース番組を見て番組作りの過程や報道スタッフ

の願いについて確認し、次の情報発信の活動につなげたい。

「広げる」では、グループ毎にニュース番組を制作し校内放送で発信する。効果的な発信ができるように、これまでの学習を想起させて企画書や取材メモ、構成メモを作らせたい。そして発信後、発信側の意図と受信側の感想を交流し、より良い伝え合いについて考えを深めさせたい。

(4) 家庭学習と授業とのつながりについて

つかむ	音読、漢字練習、語句調べ(複合語など)、ニュース番組の視聴
深める	音読、視写、書き込み、授業作文、ニュース番組の視聴
広げる	音読、授業作文、ニュース番組の視聴

(5) 小中連携に関わって

- ・中学校での学習を意識し、家庭学習に予習を取り入れる。(漢字・語句調べ・視写など)
- ・日記や作文を書かせたり、友達が書いたものを読み合ったり交流したりすることで、自分のものの見方や考え方を広げたり深めたりすることを意識して指導する。

3. 単元目標

(1) 関心・意欲・態度の目標

ニュースを伝えることに関心をもち、伝え方や内容を工夫しようとしている。

(2) 能力の目標

◎テレビ放送のニュース番組の「特集」の作り方を理解し、段落ごとに整理して、要旨をまとめることができる。(読むことウ)

○目的や相手を意識し、書く必要のある事柄を整理して書くことができる。(書くことア)

(3) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の目標

○語感や言葉遣いの使い方に対する感覚などについて関心をもつことができる。(言語事項カ)

4. 単元の指導・評価計画 (全 14 時間)

過程時	学習活動(指導内容)	評価規準		
		国語への関心・意欲・態度	読む能力 書く能力	言語についての知識・理解・技能
つかむ 1	・学習の見通しをもち、ゴールは自分たちで情報の発信であることを知る。 ・おおよその文章構成をつかむ。	単元名や教材文全体から単元の見通しをもち、ニュース番組作りに対する関心を高めている。	全文を読み、おおよその文章構成をつかみ感想をまとめている。	新出漢字や語句について正しく理解している。
深める 1	・ニュース番組の特集ができるまで(話題選び～取材)の様子を読み、過程を表に整理する。	ニュース番組作りの話題選びや取材の過程を読み取ろうとしている。	ニュースを人々に伝えるまでの過程を表にしながら、自分の力で読んでいる。	時間の言葉に着目して過程を表にしている。
	・ニュース番組の特集ができるまで(撮影～放送)の様子を読み、過程を表に整理する。	ニュース番組作りの撮影、放送の過程を読み取ろうとしている。	ニュースを人々に伝えるまでの過程を表にしながら、自分の力で読んでいる。	時間の言葉に着目して過程を表にしている。
	・「特集」とは何か、どんな	「ニュース」と「特	「特集」とは何	指示語、接続語の役

	1	なきっかけで作られるのかを読み取る。	集」の違いや「特集」になったなきっかけを意欲的に発表している。	かを読み取っている。	割を正しくとらえている。
	1	・番組作りの過程で報道スタッフの工夫をまとめる。(話題選び～企画会議Ⅱ)	番組作りの過程で報道スタッフの工夫をまとめている。	番組作りの過程で報道スタッフの工夫を正確に読み取っている。	文章の構成を考えてまとめている。
	1	・番組作りの過程で報道スタッフの工夫をまとめ、願いを読み取る。(撮影～放送)	番組作りの過程で報道スタッフの工夫をまとめ、願いを読み取るうとしている。	番組作りの過程で報道スタッフの工夫を正確に読み取っている。	文章の構成を考えてまとめている。
	1	・実際のニュース番組を見て、番組作りの過程とスタッフの願いを考える。	番組作りの過程と報道スタッフの願いを考えようとしている。	番組作りの過程や報道スタッフの願いを、まとめている。	
広 げ る	1	・自分がデスクだったらどんな特集をしたいか考え企画書を書く。	目的意識や相手意識を明らかにして話題を選び企画書を作り上げようとしている。	(以下、書く活動)読み取ってきたことをもとに目的にかなった企画書をまとめている。	「特集」という言葉をふり返りながら話題を書いている。
	1	・情報発信の手順を確かめグループ毎に企画書をつくる。	グループ毎にニュースを伝える計画を立て、自分たちの力で情報を発信していきたいという願いをもっている。	目的意識・相手意識を明確にして企画書を書いている。	
	1	・発信の準備をする。 (取材)	誰に何を伝えたいのか確認して、意欲的に取材しようとしている。	取材メモを活用して取材している。	身につけた言語能力を生かして活動している。
	1	・発信の準備をする。 (編集)	伝えることを中心に構成メモや放送原稿を意欲的に書こうとしている。	取材した内容を構成メモに書いている。 放送原稿を書いている。	分かりやすい言葉や結論・理由の順で述べる文章など、学習したことを生かした放送原稿にしている。
	1	・発信の準備をする。 (練習)	聞き手に分かりやすく発信できるよう話し合おうとしている。		身につけた言語能力を生かして活動している。
	1	・情報を発信し、発信側の意図と受信側の感想を交流する。	情報の発信や受信について考えを深めようとしている。		言葉の使い方について気をつけている。
	1	・自己評価をもとに情報の発信や受信について話し合う。	ふり返りカードをもとに、情報の発信について話し合おうとしている。	ふり返りカードをもとに発信者だけでなく受信者としての気持ちの変	特集作りを通して知った言語を生かしてふり返りカードに記入することができている。

5. 教材分析

言語事項	<p>〈キーワード〉 ニュース 番組 特集 関心 話題 取材 工夫 撮影 編集 放送 放送用原稿 願い ねうち 噴火 訓練 住民 ～日前</p> <p>〈指示語〉 それら これら この こうした それ このような</p> <p>〈接続語〉 そして まず では さらに しかし やがて また それで</p> <p>〈文末表現〉 ～みましょう。～です。～ます。～でした。～ません。～のです。</p>
要 点	<p>①防災訓練の様子がニュース番組の特集として取り上げられるまでは、どんな過程になっているのだろうか。</p> <p>②デスクは、初めて行われる富士山での避難訓練は、多くの人に関心と呼ぶ話題だと考え、ニュース番組の特集とすることに決めた。</p> <p>③番組作りの会議が開かれ、訓練について二つの疑問を中心に取材することに決まった。</p> <p>④ディレクターは、多くの人のお話や資料を集め、取材内容をより正確なものとする。</p> <p>⑤これまで富士山で訓練が行われなかったのは、長い間噴火していないことと訓練を行うだけで観光客に不安を与えてしまうことが要因の一つであると分かった。</p> <p>⑥富士山が現在も活動中の火山であることを知った住民は、有珠山が噴火した時の住民の避難の様子を報道で知り、訓練の大切さを学び、訓練をすることとした。</p> <p>⑦取材結果をもとに二度目の会議が開かれ、中心となる内容が確かめられる。</p> <p>⑧番組を見ている人が分かりやすいように音だけではなく映像にも工夫をこらす。</p> <p>⑨ディレクターは、より分かりやすく伝えるために、編集の仕方を考える。</p> <p>⑩放送原稿は、耳で聞いて分かりやすいように、いくつかの工夫がされている。</p> <p>⑪番組の最後は、取材を重ねてきてもっと伝えたいことと結び。</p> <p>⑫ニュース番組を作っている人たちは、自分たちの感じた驚きや疑問を、番組を見ている人に知って考えてほしいと願いをこめて作っている。</p>
文章構成	
要 旨	<p>毎日の出来事が、さまざまな手段によって大勢の人に伝えられるものをニュースという。テレビのニュース番組では、いち早くその出来事が伝えられるが、多くの人に関心を持ちそうな話題、関心を持ってもらいたい話題を特集として取り上げることがある。ニュース番組作りの現場では、報道スタッフが驚きや疑問にもとづいて取材を進め、伝えたいことを決めている。そして、それを分かりやすく伝えるために材料を集め、その中から見ている人に知らせるねうちがあると思うことを選び、また知って考えてほしいという願いをこめて、ニュース番組を作っているのである。</p>
発 展	<p>全校に知らせたい特集を考え、ニュース番組を作り校内放送で発信する。</p>

6. 本時の指導

(1) ねらい

実際にニュース番組を見て、番組作りの過程や報道スタッフの願いを考えることができる。

(2) 展開

	学習内容・学習活動	・支援 「主発問」 ○評価（評価方法） ●家庭学習を生かした働きかけ
つかむ 5分	1 前時までの学習を想起する。  2 本時の学習課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">実際にニュース番組を見て、報道スタッフの願いについて考えよう。</div>	・まとめの段落を音読する。 ●家庭学習で書いてきた「ニュース番組を見ての感想～スタッフの願いは何か」を紹介し、課題につなげる。
深める	3 課題を解決する。 (1) 実際にニュース番組を見て、スタッフの番組作りの意図を話し合う。 【一人学び】 【広げる学び合い（全体）】  (2) 番組作りの過程をまとめる。 【一人学び】 【収束する学び合い（全体）】  (3) スタッフの願いについて話し合う。 【深める学び合い（全体）】	「この番組のスタッフはどんなことを考えて番組作りをしたのか、考えながら見ましよう。」 ・見終わった後に感じたこと、どんな場面があったか、アナウンサーはどんな問いかけをしたか等を自由に発表させる。  「報道スタッフの願いを知るために、番組作りの過程をまとめましよう。」 ・本文の内容をしっかりと理解できるように、まとめの段落とつなげて番組作りの過程を理解させる。 ・1 2 段落を音読する。 ①どんな驚きや疑問から出発したか ②伝えたいことは何か ③どんなインタビューや撮影が行われたか（材料集め） ④知らせたいことや、考えてほしいことは何か (結びの言葉)  「スタッフはどんな願いをこめて、この番組を作ったと思いますか。」 ・結びの言葉や、インタビュー、映像、アナウンサーの問いかけ等からどんなことが分かるか説明させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">番組の中の から という 願いをこめて番組を作っていることが分かった。</div>
35分	(4) もう一度VTRを見て学習したことを確かめる。	・どのニュース番組にもいろいろな願いがこめられていることに気づかせる。

<p>ま と め る  5 分</p>	<p>4 学習のまとめをする。 ・学習のまとめを書く。</p> <p>5 次時の学習内容を確認し、家庭学習の見通しを持たせる。</p>	<p>・本時の学習で学んだこと、次時に生かしたいことを書く。 〈具体の評価規準〉</p> <p>A 番組全体からスタッフはいろいろな願いをこめて番組を作っている事が理解できること。</p> <p>B 結びの言葉からスタッフは願いをこめて番組を作っていることが理解できること。</p> <p>Cへの支援 アナウンサーの問いかけや結びの言葉、映像などから見ていてどう感じたか考えさせる。</p> <p>○番組作りには願いがこめられていることを理解し、次時の学習への意欲をもつことができたか。 (プリント、観察)</p> <p>●どんな特集番組を作りたいか家庭学習で書いてくること。次時から番組作りをする学習を行うことを伝える。</p>
---	---	---

ニュース番組作りの現場から

清水建宇

実際にニュース番組を見て、報道スタッフの願いについて考えよう。

ニュース番組 「

内容

」

見て考えたこと

### 番組作りの過程

- ①どんな驚きや疑問から始まったか
- ②伝えたいことは何か
- ③どんなインタビューや撮影が行われたか
- ④見る人に知らせたいことや考えてほしいことは何か

どんな願いをこめたか

何から分かったか

どのニュース番組にも、知って考えてほしいという報道スタッフの願いがこめられている。